

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（看護学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
看護	2	前期	基礎看護学活動論Ⅱ	2	60	西上 長井 あゆみ、 雅代	病院看護師として13年間勤務し、当該科目で教授しているフィジカルアセスメントや看護課程の実務経験を有している。授業では、看護問題の立て方や観察の仕方などに関する具体例を経験を交えて教えている。
看護	2	前期	老年看護学概論	2	30	本多 容子、 米澤 知恵、 山田 由紀	看護臨床現場での実務経験のある教員が、その経験を活かして、高齢者看護の役割及び高齢者を取り巻く現状や課題について考える授業を実施している。
看護	2	前期	在宅看護学概論	2	30	堀 智子	本科目は在宅看護学に関連の深い介護支援専門員の職歴のあり、厚生労働省認定看護教員養成講習会（在宅看護論）修了している教員が担当しており、地域で疾病や障害を持ちつつも生活する人々やその家族の健康課題や生活課題への看護介入について実践的に学べる。
看護	2	前期	母性看護学概論	2	30	齋藤 祥乃	医科大学附属病院にて助産師で6年勤務した経験と「こんにちは赤ちゃん事業」の家庭訪問2年の経験を活かし、現在の社会問題や環境に即した、女性の一生の健康について広い視野を持ち講義を行っている。
看護	2	後期	基礎看護学活動論Ⅰ	2	30	西上 長井 あゆみ、 雅代	病院看護師として13年間勤務し、当該科目で教授している吸引、酸素療法、導尿、検査介助、点滴、採血など実務経験を有している。授業では、実施時のコツや説明の仕方などに関する具体例を経験を交えて教えている。
看護	3	前期	成人看護学演習Ⅰ	1	30	林 周子、 齋野 貴史	急性期での臨床経験を有する教員が、臨地での経験を活用し、より実践的な助言や指導を行う。
看護	3	前期	統合看護実践論Ⅰ	2	30	中野 玲子、 西上 あゆみ	看護研究について13年間臨床での経験で勤務しながら、行った経験や指導経験をいかして授業を行う。
看護	3	前期	教育実習指導	1	15	吉田 卓司	教育実習生の指導経験など、教員としての実務経験を活かして、学生の教育実習が有意義かつ円滑に実施できるように実習予定校と履修学生が、良好な関係性と信頼関係を高めあえるよう連携支援と学生指導を徹底する。
看護	3	前期	母性看護学活動論	1	30	齋藤 祥乃、 前川 麻記	医科大学附属病院にて助産師で6年勤務した。（助産師としての分娩介助、NICUの新生児看護）現在、産婦人科クリニックでの臨床勤務の兼業3年している。それらを生かし、シミュレーションなどを取り入れ、より実践的な周産期の看護実践指導に役立てている。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（看護学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
看護	3	前期	精神看護学活動論	2	60	河野 由理、 藤本 智美	教員の幅広い臨地における経験をもとに講義の内容を構成し、実践に活かせる知識および技術の習得を目指す。
看護	3	前期	在宅看護学活動論	1	30	堀 智子	本科目の主担当の教員は介護支援専門員としてケアマネジメント業務に携わっていた実務経験と厚生労働省認定看護教員養成講習会（在宅看護論）修了での在宅看護論教授過程の知識および技術を活かして、ケアマネジメントと在宅看護過程の習得を目指す。
看護	3	前期	公衆衛生看護学活動論Ⅰ	2	30	佐藤 文子、 南 朗子 河端 三恵子、 波多野 浩道	保健師の実務経験を活かし、各分野における保健活動の実際について、事例を用いながら指導していく。
看護	3	前期	公衆衛生看護学活動論Ⅱ	2	30	佐藤 文子、 南 朗子、 波多野 浩道	保健師の実務経験を活かし、各分野における保健活動の実際について、事例を用いながら指導していく。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（理学療法学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
理学	1	前期	理学療法概論	1	30	寺田 茂	医療機関で34年間、臨床で理学療法士としてリハビリテーション業務に従事。その間に部門管理者としての組織マネジメントや一部で病院経営の戦略委員としてもかかわってきた。その経験を活かし、「理学療法概論」では理学療法の対象と治療手段について実際の患者を例に挙げてアプローチやリスク管理などの注意点を教授する。また、部門管理や組織としての活動、理学療法士として必要な資質についても経験を踏まえて授業を行う。
理学	1	後期	体表解剖学演習	1	30	何川 渉、 梶本 浩之	医療・介護現場における臨床経験がある教員が、その経験を活かして講義を行う。
理学	2	前期	運動療法学	2	30	森田 恵美子	臨床での経験を活かし、理学療法の最も大きな柱として位置づけられている運動療法について、臨床の場でよく用いられる関節可動域運動、筋力増強運動、持久力運動等の基礎的知識を習得することを目的に実施している。臨床の場で、対象者に対して適切な運動療法を提供するためには、解剖学、生理学、運動学の知識が非常に重要であることを、学生が意識づけできるよう授業を展開している。
理学	2	後期	臨床推論	1	30	堀 寛史	総合病院にて4年、クリニックにて2年の理学療法士としての常勤と訪問看護ステーションでの14年、整形外科クリニックでの14年の非常勤での臨床経験を有する。その経験を生かして、幅広い疾患を紹介でき、学生に対して臨床推論を論理学と経験に基づいて説明することができる。
理学	2	後期	義肢装具学	2	30	前田 智香子	さまざまな医療福祉施設において常勤理学療法士・非常勤理学療法士として勤務し、切断のリハビリテーション、整形疾患への装具療法、脳血管障害への装具療法、脊髄損傷への装具療法を実践してきた教員が、その経験を通して、学生が臨床において理学療法評価を基に義肢装具療法を展開できるセラピストになるよう本物の義肢・装具に触れさせることを重要視しつつ講義する。
理学	2	後期	日常生活活動学	2	30	平山 朋子	実務経験として、病院勤務の際に脳血管疾患、運動器疾患、神経筋疾患(パーキンソン病、ALS、脊髄損傷などの疾患)に対する日常生活活動の理学療法評価を実施(FIMなど)していた。また、日常生活活動の運動療法、日常生活活動の指導も実施していた。
理学	2	後期	脳血管理学療法学総論	1	30	山科 吉弘	ICUおよび脳卒中センターでの急性期理学療法、ならびにリハビリテーション病院での回復期・維持期理学療法の経験をもとに脳血管・脳神経が損傷された時に生じる主症状およびそのメカニズムについて説明する。また各時期（急性期～維持期）の基本的な脳血管疾患における理学療法の考え方を教える。
理学	3	前期	運動器理学療法学	2	30	熊田 仁	平成2年理学療法士免許取得（2015年 運動器認定理学療法士取得）。その後大学病院にて18年間勤務。その間、整形外科疾患の術後の管理から運動療法まで数多くの症例を経験してきている。また、クリニック等においても保存治療に対する運動療法に多く携わっていることから、それらの経験を踏まえて解剖学を基本にした考え方を治療に結びつけるよう指導する。
理学	3	前期	脳血管理学療法学	2	30	山科 吉弘	ICUおよび脳卒中センターでの急性期理学療法、ならびにリハビリテーション病院での回復期・維持期理学療法の経験をもとに脳血管疾患における一般的な運動療法の概念について説明する。そして、対象者への理学療法プログラム立案までのプロセスを理解することを目指す。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（理学療法学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
理学	3	前期	神経筋理学療法学	2	30	玉地 雅浩	担当科目で取り上げる疾患は、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、脊髄損傷、筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症、多発性硬化症、ギラン・バレー症候群である。本学に勤務する前は、大学病院や急性期の総合病院に10年以上勤務しており、これらの疾患を有する患者は全て理学療法を実施した。この経験を活かして、学生に対して、障害像がイメージできるような授業内容を提示できている。また現在も関連病院の藍野病院で、パーキンソン病の患者を毎週担当しているため、実務経験は万全である。
理学	3	前期	小児理学療法学	2	30	阪上 奈巳	支援学校や就学前の発達に何らかの支障がある子供たちが通う療育施設等で、主に運動発達機能面での支援を行っており、このような経験を基に、対象児が抱える問題やその対応について、実例をもとに紹介している。
理学	3	前期	地域理学療法学	2	30	平山 朋子	実務経験として、病院勤務の際に在宅医療、訪問リハビリテーション、住宅改修の支援、通所デイサービスなど、地域理学療法に関する業務を行っていたので、この授業においても地域医療における理学療法士の役割や仕事について講義を行う。
理学	3	後期	理学療法診断論	1	30	堀 寛史	総合病院にて4年、クリニックにて2年の理学療法士としての常勤と訪問看護ステーションでの14年、整形外科クリニックでの14年の非常勤での臨床経験を有する。その経験を生かし、対象者を検査・観察する方法の指導ができる。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（作業療法学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
作業	1	前期	作業療法学総論	1	30	長辻 永喜	作業療法士の免許取得後、大阪府立身体障害者福祉センター（現大阪急性期・総合医療センター）で22年間の臨床を通してあらゆる疾患のリハビリテーションを経験した知識をもとに教育を行う。また、対象者の治療に関わるだけでなく様々な場面の作業療法の啓発・紹介を行った。
作業	1	前期	基礎作業学	1	30	山根 伸吾	臨床において、作業に焦点を当てた作業療法介入を行ってきた。単なる工程分析・活動分析ではなく、作業分析を行うことにより、クライアント中心の作業療法を提供できることを実感している。臨床実践での経験を、理論や既存の分析方法と結びつけることにより、実践と学問の関係性を踏まえた思考過程を学生に伝えることができる。
作業	1	後期	作業療法評価学総論	1	30	津田 勇人	作業療法士免許取得後、国立大学医学部附属病院・公立病院・地域保健事業・訪問リハビリテーション事業所等で身体障害領域の作業療法を20年以上実施してきた経験をいかし、作業療法分野で実施している評価の概要をわかりやすく解説する。
作業	2	前期	精神医学 I	2	30	真下 いずみ	精神科病院勤務経験のある教員が、症状の特徴、観察のポイントについて具体的に講義する。 またリハビリテーション専門職に必要な知識として、精神症状が日常生活に与える影響について具体例を挙げて講義する。
作業	3	前期	学童青年期作業療法学	2	30	尾藤 祥子、 高畑 脩平、 花家 竜三	地域活動の一貫として行う、教育委員会での相談事業、保健センターでの乳幼児検診、教育センターでの相談事業での経験をいかし、模擬ケースを使った演習の中で、分析や目標設定、治療プログラム立案を学ばせる際に、より具体的な内容を学生に教えることができる。学校や社会でのタイムリーな問題点について教えることができる。
作業	3	前期	心理社会作業療法学	2	30	白井 雅子、 真下 いずみ	実務経験として、精神科病院や精神科デイケアで様々な疾患の方にに関わり、地域生活の継続や就労支援のための他職種や他機関との連携をとってきた。この講義では、作業療法治療計画が立案できることを目標に事例を通して授業展開している。その中で、疾患ごとの特性や他職種との連携の重要性を示し、精神障害者が地域生活や就労支援を当たり前に行えるような作業療法援助の方法を促している。
作業	3	前期	特定・内部疾患作業療法学	2	30	長辻 永喜、 宮本 陳敏	22年間の臨床を通してリウマチやギランバレー等様々な難病疾患に対する作業療法を経験した。この経験を活かし、特定疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、代謝性疾患、悪性新生物（ターミナル期）の基礎知識とリスク管理、作業療法介入について教育を行う。
作業	3	前期	高齢期作業療法学	2	30	長辻 永喜	22年間の臨床を通してあらゆる多くの高齢期疾患に対する作業療法を実施した。この経験を活かし、老年期障害に対する作業療法の役割、必要とされる生活支援を実践するための知識をもとに教育する。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（作業療法学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
作業	3	前期	地域作業療法学	2	30	山根 伸吾、 高畑 脩平、 真下 いずみ	<p>山根：回復期リハビリテーション病棟において勤務した経験から、地域にソフトランディングするために必要なことを伝えることができる。また介護認定審査会や地域ケア会議、地域介護予防拠点整備促進事業（通いの場の立ち上げ支援）、認知症カフェに関わった経験から、地域での生活支援について伝えることができる。</p> <p>高畑：発達障害のお子さんを医療機関のみでなく生活場面でも支援を行ってきた経験を伝えたい。具体的には、保育園・幼稚園・小学校・中学校への訪問や、児童デイサービスの立ち上げ、企業、歯科、刑務所との連携などもトピックとして伝えることができる。</p> <p>真下：精神障害者アウトリーチ推進事業・精神科訪問看護・ひきこもり支援団体での訪問事業やまちづくりに従事した経験から、精神障害がある人の生活や支援体制について伝えることができる。</p>
作業	3	前期	認知神経作業療法特論	2	30	酒井 浩	<p>兼業先では高次脳機能障害の事例相談と治療指導を行っており、このような実例をもとにした経験を匿名資料化し、授業内で紹介している。また、臨床では最新の評価介入方法がリアルタイムに導入されており、常に最新の知識に触れることができるため、授業でも最新最先端に触れさせることができる。</p>

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（臨床工学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
臨床	1	前期	臨床工学概論 I	1	30	山崎 康祥、 菊池 瞳、 畑中 由佳	実務経験から、臨床経験に基づき実例を示しながら臨床工学業務全般における基本的な理論の展開と制御管理について講義する。
臨床	2	前期	臨床工学関連法規	1	30	菊池 瞳	臨床現場で5年以上の実務経験を有し、その経験を活かして臨床現場における臨床工学技士に関係する関連法規について指導する。
臨床	2	前期	臨床医学内科総論	1	30	田浦 晶子	大学病院および一般病院で20年間以上、医師として臨床業務に携わり、保険医療委員としての実務経験も有する。教科書のみでは学ぶことが出来ないような、実際の臨床現場での様々な問題点（医療安全、カルテ記載、インフォームドコンセントなど）について、わかりやすく教示している。病院での診療も兼業で行っており、最新医療情報についても提供出来るように対応している。
臨床	2	後期	医用機器安全管理学 I	2	30	林 拓世、 菊池 瞳	臨床現場で医療機器の保守点検業務を5年以上経験した。その経験を活かして臨床現場における医療機器の保守点検業務について指導する。
臨床	2	後期	臨床医学外科総論	1	30	田浦 晶子	大学病院および一般病院にて20年間以上、外科系医師として勤務し、リスクマネージャーとしての経験も有する。教科書のみでは学ぶことが出来ないような、実際の外科臨床現場での様々な問題点（手術室における医療安全、機械トラブルなど）について、わかりやすく教示している。また病院での診療も兼業で行っており、最新医療情報についても提供出来るように対応している。
臨床	2	後期	腎泌尿器病態学	1	30	水谷 陽一	泌尿器科医師として、約35年の臨床経験を有している。ほとんどの学生は大学卒業後、病院で臨床工学技士として勤務している。そのため、その臨床経験から、教科書の表面的な記述の説明のみならず、臨床現場ではどのようなことが重要であり、どのようなことが知識として必要とされているのかを教授している。
臨床	3	前期	生体計測装置学 II	2	30	菊池 瞳	臨床現場で生体計測機器を中心とした5年以上の実務経験を有し、その経験を活かして臨床現場における医療計測機器について指導する。
臨床	3	前期	人工心肺制御学 I	2	30	山崎 康祥	臨床工学技士の実務経験に基づき、理論だけでなく実例に基づいた講義展開をおこなう。
臨床	3	前期	血液浄化療法学 I	2	30	畑中 由佳	血液浄化療法を中心とした5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして血液浄化療法の原理から基礎までを指導する。
臨床	3	後期	人工心肺制御学 II	2	30	山崎 康祥	臨床工学技士の実務経験に基づき、臨床例を提示しつつ人工心肺の大血管手術領域、先天性心疾患領域の各論での制御管理について実践例を中心に講義する。
臨床	3	後期	血液浄化療法学 II	2	30	畑中 由佳	血液浄化療法を中心とした5年以上の実務経験を有しており、その経験を活かして血液浄化療法の基礎から応用までを指導する。

【実務経験のある教員等による授業科目であることを示す一覧】（臨床工学科）

学科	学年	配当	科目	単位	時間数	担当教員	教員担当の実務経験
臨床	3	後期	人工心肺制御学実習	1	30	山崎 康祥、 畑中 由佳	臨床工学技士の実務経験から、臨床経験に基づいた操作法の指導およびピットフォールについて実務指導をおこなう。
臨床	1	後期	医療倫理学	2	30	篠田 恵一	大学付属病院・民間病院において臨床医として診療に携わり、インフォームドコンセント、守秘義務、終末期医療、難病患者の医療などを経験してきた。また、臨床研究、臨床試験（治験）、遺伝子診断における遺伝カウンセリングの実践、脳死判定委員も経験している。民間病院の病院長として倫理委員会の設置と運営、医療事故への対応や医療事故防止などにも関与してきた。 以上の経験を踏まえうえて、医療現場における倫理的問題、医療倫理の実践に関して実際の事例を用いて講義を行う。